

事業所における自己評価結果 (公表)

公表:令和 7年 3月 30日

事業所名 特定非営利活動法人シャイン

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6			体育館を使用し体を動かせる場所を確保しています。	個別対応が必要な時の個室確保、安全に体を動かすことができる体育館の使用を引き続き行っていきます。
	②	職員の配置数は適切である	6			国の人員配置基準を守り配置しています。	
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		4	2	建物の構造上完全なバリアフリー化は難しい状況です。	必要に応じて危険のないように職員が補助し安心安全な支援をしていきます。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	3	3		職員会議、担当者会議等で現状、課題、見直しを図っています。	引き続きPDCAサイクルを意識して現状把握、支援の共有を行っていきます。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6			会報で協力をお願いしています。	
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6			2017年よりホームページにて公開しています。	
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている			6	関係機関や保護者の見学等の実施により外部の意見を参考にしています。	第三者委員会による外部評価について引き続き検討課題としていきます。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4	2		内部・外部研修への参加をしています。	引き続き職員の資質向上の為研修への参加を行っていきます。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5	1		面談や日々の観察により客観的、多角的な視点から計画作成を行います。	引き続きニーズや課題を分析し一人一人に対して適切な計画の作成の質の向上に努めます。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	2		外部での発達検査結果や関係機関と連携し状況を把握しています。	日々の支援の中からの行動観察も含めて適応行動の状況を確認します。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っている	3	3		会議を開催し計画作成を進めています。	引き続き職員全体で理解できるよう職員会議で共有を図ります。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4	2		新しい課題を取り入れたり支援ツールの見直しをしています。	全体、小集団、個別に対しての活動内容について、適宜見直しを図っていきます。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	4	2		利用日毎に活動内容を設定し支援を行います。	設定した課題に対して準備を行い支援していきます。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる放課後等デイサービス計画を作成している	5	1		状況に応じて個別対応や小集団、集団を組み合わせ活動を行います。	引き続き状態を把握し活動の組み合わせを見直ししながら計画を作成していきます。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の内容や役割分担について確認している	6			支援開始前に打ち合わせを行い、その日の注意点や職員の動きについて確認を行います。	
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	3	3		必要な報告、連絡を行い職員間で共有できるようにしています。	職員間の連携を図るため、情報共有を行っていきます。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5	1		日々の支援について個別の記録を行っています。	支援の検証・改善に繋がるような記録方法について内部指導を行っていきます。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6			6か月に一度見直しを行っています。	

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑲ ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	4	2		学校との連携を図りながら支援を行います。	地域交流の機会の提供が少ないため今後の検討課題としていきます。	
	⑳ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5	1		児童発達管理責任者、管理者、担当者など適任者を選定し可能な限り出席します。	会議への出席ができる体制を構築していきます。	
	㉑ 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	5	1		保護者や学校との直接的なやり取りで情報を共有しています。	必要に応じて丁寧な確認を行い適切な連絡や共有を行っています。	
	㉒ 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている			6		現在医療的ケアが必要なお子さんのご利用はありません。	ご利用がある際は会議への出席を通して情報の共有、連絡体制を整えています。
	㉓ 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	6				情報共有を行っています。	
	㉔ 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	6				移行会議への出席により情報提供を行っています。	
	㉕ 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	3			研修が開催されたときには可能な範囲で参加しています。	参加を促進していくよう努めます。
	㉖ 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	4	2			法人主催のイベントを開催し交流の場としています。	様々な機関と交流し活動できる場を作っていくよう今後の検討課題としていきます。
	㉗ （地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	1	5			積極的な参加はありません。	要請があれば参加できる体制を作り、事業所連絡会に参加し地域連携を図っていきます。
	㉘ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5	1			日々の送迎で話をする機会を設けています。	話しやすい支援体制を構築し、必要に応じて場を設定できるよう努めます。
保護者への説明責任等	㉙ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		3	3		保護者の方向けの研修会やペアレントプログラムは行っていません。	保護者の方向けの研修会の開催など、今後の課題とします。
	⑳〇 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6				契約時に説明を行っています。	
	⑳〇 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	2	4			会議等で検討し支援に反映しています。	相談に沿って行う支援の目的と経過等について保護者との情報共有を行い、内部で共有していきます。
	⑳〇 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		2	4		保護者会は開催していません。	ニーズにより検討していきます。
	⑳〇 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5	1			電話や訪問により迅速な対応に努めています。苦情受付については重要事項説明書により伝えていきます。	引き続き迅速な対応に努めていきます。
⑳〇 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6				月に1回のおたよりで活動予定や内容をお伝えしています。		

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	③⑤	個人情報に十分注意している	6			職員と個人情報の取扱いについて念書をかかし勤務しています。	
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6			写真や絵カードの使用によりお子さんに合わせた意思の疎通を行っています。	
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	5	1		法人主催のイベントについて回覧板等でお知らせしています。	地域の回覧を利用する等今後も積極的に事業所の周知を図っていきます。
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	6			緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定しています。	
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6			定期的に避難訓練を行っています。	引き続きおたよりで実施結果についてお知らせしていきます。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6			虐待防止委員会、研修委員会を設置し研修を計画、開催しています。	
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	6			身体拘束適正化委員会を設置して、身体拘束の必要性について検討を行っています。	
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3	3		保護者の方からの情報により対応しています。	指示書がある場合は職員間での共有を行っています。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4	2		対象事例があった場合は報告書を提出し会議で共有しています。	

この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。